

◎工事等に関する問い合わせ先

☆チラシのバックナンバーをご希望の方は、下記の電話番号にご連絡ください。

○発注者：国土交通省 三陸国道事務所
建設監督官 佐々木
TEL 0193-71-1745

◆工事等一覧表

①	工事名	受注者	現場責任者	工事期間
①	豊間根地区改良工事	(株)本間組 東北支店	長井、鈴木	平成25年3月6日 ~ 平成26年03月下旬 予定
②	津軽石地区改良工事	日本国土開発(株) 東北支店	内田、菅野	平成25年3月23日 ~ 平成26年03月下旬 予定
③	馬越地区改良工事	樋下建設(株)	阿部、花田	平成25年7月9日 ~ 平成26年03月下旬 予定
④	豊間根北地区道路改良工事	矢作建設工業(株) 東北支店	大槻、小池	平成25年8月21日 ~ 平成26年03月下旬 予定
⑤	大沢地区改良工事	村本建設(株) 東北支店	渡辺、丸山	平成25年9月26日 ~ 平成26年03月下旬 予定

⑥	工事名	受注者	現場責任者	工事期間
⑥	山田第2トンネル工事	熊谷組・アイザワ工業・株木建設JV	藤原、小西	平成25年11月26日 ~ 平成28年02月上旬 予定
⑦	豊間根川橋下部工工事	徳倉建設(株) 東北支店	佐野、北折	平成25年11月29日 ~ 平成26年06月下旬 予定
⑧	豊間根トンネル工事	東急建設(株) 東北支店	安野、石澤	平成25年12月14日 ~ 平成27年11月中旬 予定
⑨	山田第1トンネル工事	戸田建設(株) 東北支店	陸山、鈴木	平成26年1月7日 ~ 平成28年02月下旬 予定
⑩	山田宮古地区伐採作業	宮古地方森林組合	中居、中嶋	平成25年7月10日 ~ 平成26年03月中旬 予定

※工事期間は、実作業ベースで記載しています。



☆山田宮古地区伐採作業が終了します。
(施工担当：宮古地方森林組合)



山田宮古道路区間(延長14km)の今年度分の伐採作業が終了いたします。埋蔵文化財発掘調査や道路改良工事は、伐採作業が終了しないと開始できません。今年度は、約13haの伐採作業を実施していただきました。先日の大雪等で作業に支障をきたした事もありましたが、無事故で作業を終了していただきました。ありがとうございました。



▲伐採状況(山田町大沢地区)



▲伐採状況(宮古市津軽石大森地区)



▲森林組合の皆さん



▲伐採完了(山田町間木戸地区)



工事責任者
中居さん

山田宮古工区では3月中旬で今年度の伐採工事が完了することになりました。復興道路建設ということで迅速な対応が望まれる中、作業員や重機の手配などに苦労はありましたが、安全第一で作業を進め、無事故で工事を終える事が出来ました。作業中は、騒音や伐木運搬トラックの通行などで、ご不便・ご迷惑をお掛けしましたが、皆様のご理解・ご協力をいただき、滞りなく無事に工事完了を迎えられたことを大変感謝しております。ありがとうございました。

※伐採作業は来年度(H26年度)も継続いたします。皆様にはご迷惑をお掛けしておりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



☆三陸沿岸道路「尾肝要道路」開通!
~国道45号「最大の峠区間」が解消されます~



三陸国道事務所がこれまで事業を進めてきました、三陸沿岸道路「尾肝要道路」が3月2日(日)に開通しました。「尾肝要道路」は三陸沿岸道路(復興道路)の一部を構成する延長4.5kmの自動車専用道路で、岩手県内の三陸沿岸道路(復興道路)としては、平成25年10月に開通した「普代道路」に次いで2箇所目の開通となります。開通に先立ち開通式が行われ、開通を待ち望んでいた地元の皆様など多くの方が参列しました。



▲テープカットを行うご来賓の皆様



▲地元住民の方々による「菅笠鹿踊」が式典を盛り上げました。



▲ついに「尾肝要道路」が開通!開通を記念してパレードを行いました。

☆かつて「陸の孤島」と呼ばれ、道路の整備とともに発展してきた田野畑村の、最後にして最大の難所「閉伊坂峠」が解消されます



ひとくちメモ・・・たのはた ~道ものがたり~

現在の国道45号横木沢橋が架かる谷をたどる旧道に「思案坂」、思惟大権が架かる松前沢をたどる旧道に「群鶴坂」があります。明治~大正時代に役所員が管内視察や出張で田野畑村を訪れた際、百メートル以上の深い谷が次々と立ち上がり、はしめの坂で「行こうか戻るか」思案し、次の坂で「こんなところに時々出張しなければならぬのらいつそ役人を辞めてしまおう」と願念する。そこで、「思案坂」、「群鶴坂」と呼ばれるようになった。田野畑村が「陸の孤島」と呼ばれた当時の通行の厳しさを物語るエピソードです。昭和40年に横木沢橋が、昭和59年に思惟大権が開通したことにより、運動通学や医療・防災などあらゆる面で村民の暮らしは大きく変わり、それまで急峻な地形に阻まれていた人々の交流やらあいの機会が創出されました。田野畑村にとって道路は人、物だけでなく、「心」も運ぶものなのです。

